資料２－７

貨物集配中の車両の駐車に係る取組の推進について

警　察　庁
交　通　局

貨物集配中の車両の駐車に係る取組について

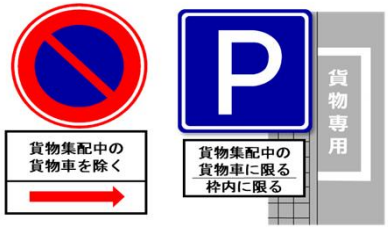
■　駐車規制の見直し

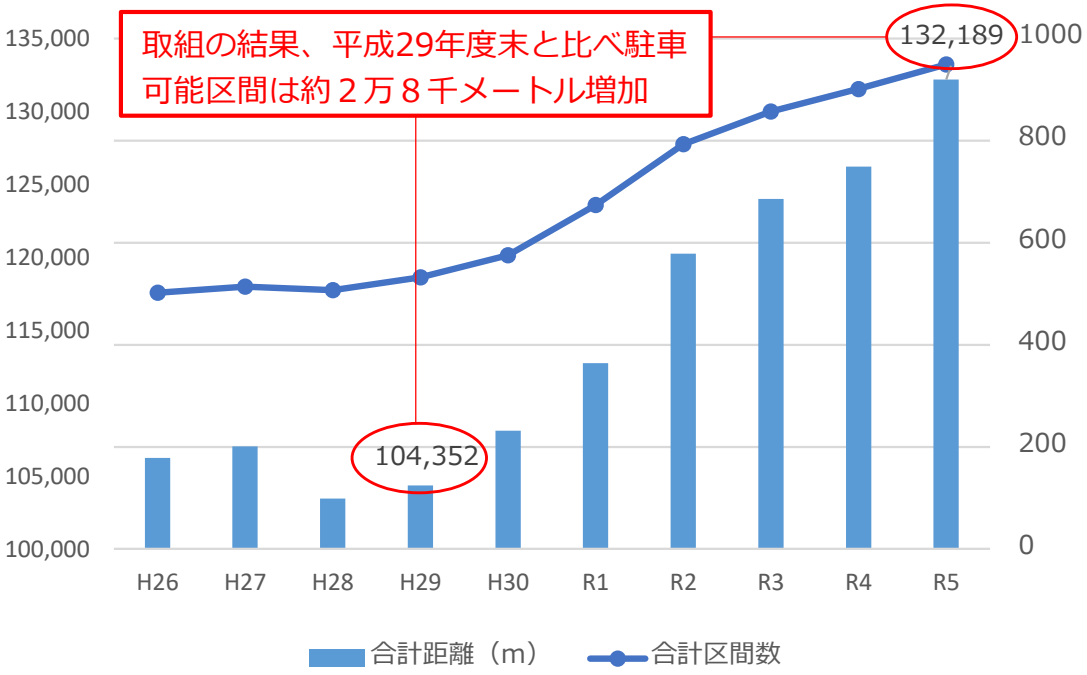
警察においては、働き方改革関連法が公布された平成30年以降、**貨物の集配に配慮した駐車規制**の実施に取り組んできたところであり、具体的には

- **貨物集配中の車両の駐車禁止規制からの除外**
- **貨物車専用駐車枠の設置、これらの枠に駐車している一般車両の取締り**（※）

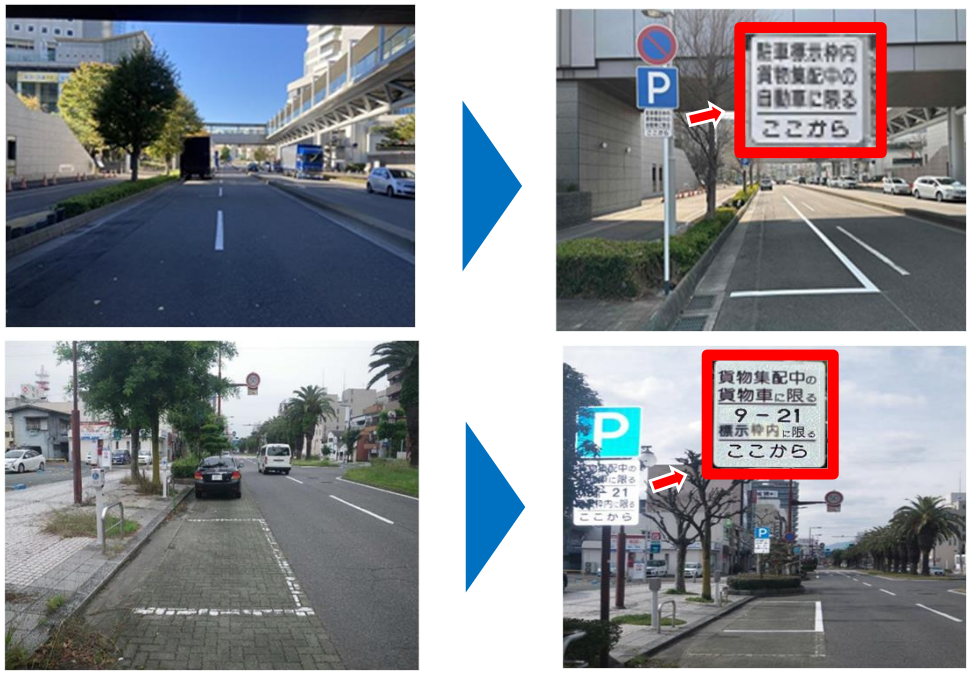
※　違法駐車取締り状況から貨物集配車両の路上駐車需要が高い一方、路外駐車場整備が十分でない場所等で重点的に実施

を推進





貨物集配中の車両が駐車可能な区間及び距離



駐車規制を見直した具体例
（駐車禁止規制区間に貨物集配車両に限った駐車枠を設置）

貨物集配中の車両の駐車に係る取組について

■　駐車許可の運用の見直し

いわゆる物流2024問題を背景に、本年３月、**駐車許可の制度や運用の見直しに関する通達を都道府県警察に対して発出**

見直しの主な内容

- 駐車許可に係る用務に貨物集配が含まれることの明確化
- 他の駐車可能な場所の有無を考慮する範囲を「おおむね100メートル以内」に全国的に統一するほか、通学路やバス路線ではないかといった、審査において留意すべき事項を明確化するなど、許可要件の明確化等
- 申請書及び添付書類を含め、申請手続に係る運用を全国的に統一
- 反復継続的な用務に係る許可証の有効期間は、原則として１年以上とすることで全国的に統一
- 許可証等の不正使用事案には、積極的な検挙、許可取消や車両の使用制限命令の検討等、厳正に対処

➡ 都道府県警察における公安委員会規則等の改正を経て、**本年７月１日までに全国で運用を開始**